

基礎(布基礎)

01007

基礎の寸法不足と芯ずれ

| | |
|------|--------------------|
| 年度 | 1994年完成(2009年調査) |
| 場所 | 茨城県神栖市 |
| 構造 | 木造在来軸組工法 |
| 階数 | 2階 |
| 延べ面積 | 136 m ² |
| 用途 | 一戸建ての住宅 |

瑕疵の特徴

1. 基礎立上り部分の寸法が、基礎全体にわたり、設計図記載の寸法に対して不足している。(写真1)
2. 基礎立上り部分の位置が、建物芯から大きくずれ、土台が基礎から外れている。

(写真2)

写真1



写真2



解説

基礎立上り部分の寸法は、設計図(確認申請図)に高さ500mm厚み150mmと記載している。しかし、実際には、高さ433mm、厚みは117mmしかなく、設計図記載の寸法に対して大きく不足している。

更に、基礎の位置が建物芯から大きくずれため、土台は基礎から60mm外れている。

この上部は、筋かいが取り付く耐力壁であり、基礎と土台は緊結しなければならない。しかし、基礎のずれによって、アンカーボルトによる基礎と土台の緊結は行われていない。

土台と基礎の緊結については、施行令第42条2項で規定している。